
第 50 報 平成 25 年 7 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 生コンクリート 石巻 】

石巻地区の生コンクリートは、建築標準物(21-18-20)で m³ 当たり 1 万 5,900 円と前月比 900 円の上伸となった。当地区協組では、県外産砂の調達などによるコスト増を理由に 4 月出荷分より 2,500 円/m³ の大幅値上げを表明、需要家側の数量確保を優先する姿勢を背景に 5 月調査時点で 1,600 円/m³ まで上伸。現在、新規契約物件が中心となるなか新価格の受け入れが進み、さらなる価格上伸となった。先行き、横ばいで推移する見通し。

【 コンクリート砕石 仙台 】

仙台地区のコンクリート用砕石(20~5mm)は前月比 300 円/m³ 上伸し 3,600 円/m³ となった。生コン需要が急増しており、各砕石メーカーは製造時間を拡大して対応しているが依然として需給はひっ迫している。また運搬車両不足もいまだ改善しておらず、メーカー側の販売姿勢は強い。原材料の安定確保を優先する需要家側は、値上げの一部を受け入れざるを得ない状況にある。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。

【 アスファルト混合物 宮古 】

宮古地区のアスファルト混合物は、密粒度(13)で 1 万 4,800 円/t と前月比 600 円/t 上伸した。スト・アス、骨材など原材料価格の上伸や運搬コスト増を理由とした各メーカーの値上げが一部浸透した。同地域内では生コン需要が旺盛であり、その影響でアスファルト混合物用の骨材も需給はひっ迫した状況が続いている。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。

なお、岩手県沿岸部の大船渡、久慈、釜石などでも、密粒度(13)で前月比で t 当たり 600 円上伸している。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼動状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼動状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼動状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部

TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P79~)	青森県	八戸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万3,300円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 6月号	3,200円/m3上伸 2万1,250円	7月8日		ひっ迫	横ばい
		大船渡	—	1万4,400円	7月8日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	7月8日	久慈地区生コン協組では、原材料である骨材価格の上昇や輸送費の増大などを理由に、需要家に対して売り腰を強化。需要の後押しもあり、値上げが浸透。価格はm3当たり1,200円の上伸。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 10月号	1,400円/m3上伸 1万6700円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	7月8日		ひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	7月8日	石巻地区では、震災需要による骨材のひっ迫により、平成24年12月頃から県外産の砂(海送品)の調達を始めており、平成25年2月に石巻生コン協組では、4月出荷分から2,500円/m3の値上げを表明。需給がひっ迫するなか、需要家側は数量確保を優先する姿勢で、平成25年6月号で1,600円/m3の上伸。現在、新規契約物件が中心となるなか、新価格の受入れが進み、さらに900円/m3の上伸となった。	ひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	7月8日	石巻(雄勝)地区では、震災需要による骨材のひっ迫により、平成24年12月頃から県外産の砂(海送品)の調達を始めており、石巻生コン協組では4月出荷分から値上げを表明。需給がひっ迫するなか、需要家側は数量確保を優先する姿勢で、平成25年6月号で1,900円/m3の上伸。現在、新規契約物件が中心となるなか、新価格の受入れが進み、さらに900円/m3の上伸となった。	ひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万5,700円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2013年 8月号	2,000円/m3上昇 1万7,500円	7月8日	宮城県南生コン協組では、復興プラントの新設とこれに関わる新規骨材工場の建設など、急増する生コン需要に対応すべく設備の増強を行っている。また、骨材を主体とした原材料コストの増大と運搬車輛の増車や燃料費の上昇など、製造・出荷および設備増強に関わるコスト増を要因に、4月以降の販売価格をこれまでよりも2,000円/m3値上げとすることを本年2月に表明。新年度当初より需要は堅調に推移しており、売り手市場の状況下、価格よりも生コンの数量確保を優先する需要家側の対応から2,000円/m3の値上げは浸透した。先行き、横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P83~)	宮城県	松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	7月8日	松島地区では、震災需要による骨材のひっ迫により、平成24年12月頃から県外産の砂(海送品)の調達を始めており、平成25年2月に石巻生コン協組では、4月出荷分から2,500円/m3の値上げを表明。需給がひっ迫するなか、需要家側は数量確保を優先する姿勢で、平成25年6月号で1,600円/m3の上伸。現在、新規契約物件が中心となるなか、新価格の受入れが進み、さらに900円/m3の上伸となった。	ひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万5,700円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 11月号	1,000円/m3上伸 1万2,000円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	7月8日		ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 6月号	100円/m3上伸 3,500円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	7月8日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	7月8日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	7月8日	メーカーが1社に限られるなか、需要増に対応するため、メーカー側では設備の維持や人員の増員などによる製造コストの増大を理由に値上げを実施。需給がひっ迫するなか、安定供給を求める需要家側は値上げを受け入れた。先行き、強含み横ばい推移の見込み。	ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	7月8日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 8月号	300円/m3上伸 3,100円	7月8日	生コン需要が昨年度よりさらに増加し、メーカー側では製造時間の拡大などで対応しているものの需要量には追い付かず、需給ひっ迫状況は続いている。また、運搬車両不足にもいまだ改善はみられない。こうしたなか、今後も生コン需要は増加する見通しであり、メーカー側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先する需要家側も、値上げを一部でも受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2013年 8月号	300円/m3上伸 3,500円	7月8日	運搬車両の不足による運搬コスト上昇、燃料の高騰、生産増強に伴う製造コストの上昇を理由に供給側では段階的に値上げを実施し、300円/m3の上伸。電気料金の上昇や運搬車両の不足等により、製造・輸送コスト高は続くものとみられ、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	300円/m3上伸 4,100円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	300円/m3上伸 4,900円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	400円/m3上伸 3,300円	7月8日	生コン需要が昨年度よりさらに増加し、メーカー側では製造時間の拡大などで対応しているものの需要量には追い付かず、需給ひっ迫状況は続いている。また、運搬車両不足にもいまだ改善はみられない。こうしたなか、今後も生コン需要は増加する見通しであり、メーカー側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先する需要家側も、値上げを一部でも受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,000円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	300円/m3上伸 4,500円	7月8日	運搬車両の不足による運搬コスト上昇、燃料の高騰、生産増強に伴う製造コストの上昇を理由に供給側では段階的に値上げを実施し、300円/m3の上伸。電気料金の上昇や運搬車両の不足等により、製造・輸送コスト高は続くものとみられ、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	100円/m3上伸 3,600円	7月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20～5mm 単位:m3 (P170～) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,900円	7月8日	製造コストは依然高水準で、運搬車輛の不足傾向で運搬コストの上昇も見られ、供給側では売り腰を強めており価格は上伸。今後、強含み横ばい推移の公算。	ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	7月8日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 3,600円	7月8日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	7月8日	運搬車輛が不足傾向で運搬コストが上昇傾向にあるなか、好調な需要に支えられ供給側では売り腰を強めており、価格は上伸。今後、強含み横ばい推移の公算。	ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2013年 8月号	300円/m3上伸 3,600円	7月8日	生コン需要が昨年度よりさらに増加し、メーカー側では製造時間の拡大などで対応しているものの需要量には追い付かず、需給ひっ迫状況は続いている。また、運搬車輛不足にもいまだ改善はみられない。こうしたなか、今後も生コン需要は増加する見通しであり、メーカー側では、運搬車輛不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先する需要家側も、値上げを一部でも受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,300円	7月8日	運搬車両のひっ迫、燃料の高騰により製造・運搬コストが上昇しているなか、好調な需要に支えられ供給側では売り腰を強めており、価格は200円/m3の上伸。メーカー側では今後予定されている電気料金の値上げによるコスト上昇分についても価格転嫁を図る意向で、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,800円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	7月8日	生産増強に伴う製造コストの上昇を理由に供給側では売腰を強め、100円/m3の上伸。今年度さらに生コンクリートの需要が見込まれ、需要は増大する見込みで、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
	亶理	2013年 8月号	300円/m3上伸 3,700円	7月8日	生コン需要が昨年度よりさらに増加し、メーカー側では製造時間の拡大などで対応しているものの需要量には追い付かず、需給ひっ迫状況は続いている。また、運搬車輛不足にもいまだ改善はみられない。こうしたなか、今後も生コン需要は増加する見通しであり、メーカー側では、運搬車輛不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先する需要家側も、値上げを一部でも受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい	

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 単位:m3 (P172~)	宮城県	松島	2013年 8月号	500円/m3上伸 3,900円	7月8日	生コン需要が昨年度よりさらに増加し、メーカー側では製造時間の拡大などで対応しているものの需要量には追い付かず、需給ひっ迫状況は続いている。また、運搬車輛不足にもいまだ改善はみられない。こうしたなか、今後も生コン需要は増加する見通しであり、メーカー側では、運搬車輛不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先する需要家側も、値上げを一部でも受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,600円	7月8日	運搬車両のひっ迫、燃料の高騰により製造・運搬コストが上昇しているなか、好調な需要に支えられ供給側では売り腰を強めており、価格は200円/m3の上伸。メーカー側では今後予定されている電気料金の値上げによるコスト上昇分についても価格転嫁を図る意向で、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 3,500円	7月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 3月号	100円/m3上伸 2,000円	7月8日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,000円	7月8日	震災復旧工事の本格化以降、工事案件は大量かつ多方面に広がっており、物件自体が大型化しているため一回当たりの取引ロットも大型化している。原材料となる廃材在庫が不足気味であり、需給状況はひっ迫傾向に変わりなく、製造数量、運搬能力には限界があるため、全ての需要を再生骨材だけでは賄いきれない状況となっている。こうした状況下、メーカー側では製造、運搬コストの上昇分を販売価格に転嫁すべく継続的な値上げを行っており、材料確保を優先する需要家へ一部浸透したことにより、市況上伸となった。今後もこのような状況は続く見通しにあり、先行き、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	7月8日	震災関連の復旧・復興工事向けに需要は増大。各メーカーでは運搬車両の不足、燃料の高騰を理由に段階的に値上げを実施。売り手市場の状況下、需要家側では安定確保を最優先する姿勢で値上げが浸透。電気料金の上昇等により、製造コスト上昇は続くと思われる見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,700円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	7月8日	運搬車両の不足、燃料の高騰を理由に各メーカーでは売腰を強め、100円/m3の上伸。電気料金の上昇等により、製造コスト上昇は続くと思われる見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	7月8日	震災復旧工事の本格化以降、工事案件は大量かつ多方面に広がっており、物件自体が大型化しているため一回当たりの取引ロットも大型化している。原材料となる廃材在庫が不足気味であり、需給状況はひっ迫傾向に変わりなく、製造数量、運搬能力には限界があるため、全ての需要を再生骨材だけでは賄いきれない状況となっている。こうした状況下、メーカー側では製造、運搬コストの上昇分を販売価格に転嫁すべく継続的な値上げを行っており、材料確保を優先する需要家へ一部浸透したことにより、市況上伸となった。今後もこのような状況は続く見通しにあり、先行き、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P172~)	宮城県	松島	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	7月8日	震災復旧工事の本格化以降、工事案件は大量かつ多方面に広がっており、物件自体が大型化しているため一回当たりの取引ロットも大型化している。原材料となる廃材在庫が不足気味であり、需給状況はひっ迫傾向に変わりなく、製造数量、運搬能力には限界があるため、全ての需要を再生骨材だけでは賄いきれない状況となっている。こうした状況下、メーカー側では製造、運搬コストの上昇分を販売価格に転嫁すべく継続的な値上げを行っており、材料確保を優先する需要家へ一部浸透したことにより、市況上伸となった。今後もこのような状況は続く見通しにあり、先行き、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	7月8日	震災関連の復旧・復興工事向けに需要は増大。各メーカーでは運搬車両の不足、燃料の高騰を理由に段階的に値上げを実施。売り手市場の状況下、需要家側では安定確保を最優先する姿勢で値上げが浸透。電気料金の上昇等により、製造コスト上昇は続くとみられ、先行き強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	7月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	7月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	—	1万2,100円	7月8日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,800円	7月8日	原材料価格の上昇、運搬車両不足による運搬コスト増を背景とした各メーカーの値上げが一部浸透。原材料である骨材の需給は、沿岸地区の生コン需要が旺盛な中、ひっ迫した状況が続いている。先行き、強含み横ばい推移の見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,000円	7月8日		均衡	強含み横ばい
		久慈	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,300円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,100円	7月8日		均衡	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2013年 6月号	300円/t上伸 1万1,900円	7月8日		均衡	横ばい
		石巻	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,200円	7月8日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,500円	7月8日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,900円	7月8日		均衡	横ばい
		亶理	2013年 6月号	300円/t上伸 1万1,900円	7月8日		均衡	横ばい
		松島	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,000円	7月8日		均衡	横ばい
		南三陸	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,400円	7月8日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,300円	7月8日		やや緩和	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,450円	7月8日		ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9	鋼矢板	7月13日	東北地区の本設工事向け需要が旺盛なことに加え、全国的に防災対策工事向けの引き合いが増えており、需給はややひっ迫している。また、引き合いの増加に伴い、納期にもやや遅れが見られる。メーカー側の売り腰は強く、先行き、強含み。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	7月13日	原料の鉄屑相場が軟調に推移する中、メーカーのコストは下落している。収支の改善を目指すメーカーは、採算重視の販売姿勢を徹底。しかし、新規の引き合いに精彩を欠く中、流通側の一部に数量確保を優先する動きがみられ、製販の足並みは揃っていない。秋口に向けて需要家側は着工を予定する物件を抱えているものの、鉄屑価格が引き続き下落基調にあるため、材料手配を急ぐ様子はない。急速な需要の回復が見込まれない中、流通側の価格競争は今後も避けられないとの見方から、当面、弱含みで推移する公算が大きい。	やや緩和	弱含み
	セメント	72	セメント(バラ)	7月11日	災害復興工事向けの需要が旺盛なことを受け、各メーカーの工場はフル稼動に近い状況となっている。メーカー側は供給責任を果たすべく、出荷体制を整えているものの、運搬車両、セメントサイロの不足は続いており、新規物件については納入を辞退する場面も散見される。大手メーカーの一部が7月から値上げを実施したことで、全メーカーの足並みが揃った。最大需要家である生コン業者は値上げに対する抵抗が大きいため、メーカーは工事口を中心に売り腰を強めていく意向。先行き、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	210 ～ 211	コンクリート型枠用合板	7月16日	合板輸入量は増加しており、需給のタイト感は解消されている。産地価格の強基調が続いており、販売側では仕入れコスト上昇分の価格転嫁を進めるため、引き続き売り腰を強めている。先行き、強含みで推移する見通し。供給体制は平常通りとなっている。	均衡	強含み
	木材	226 ～ 229	仮設・土木用木材	7月16日	沿岸部では海岸堤防(防潮堤)向けに一時的にまとまった数量は見られるものの、逼迫するほどは無く、今のところ供給能力に問題はない。価格は、輸入材が円安の影響で強基調にあるため、国内産も値上げ機運が高まっているが、市場への浸透までには至らず、目先強含み横ばいの見通し。	均衡	強含み横ばい
		230 ～ 237	一般建築用木材	7月16日	一般住宅向け需要は、震災復興住宅向けや、消費税増税の駆け込み需要から、荷動きは堅調。価格は米材製品が円安や現地価格の上昇から強含んでおり、国内産もジリ高傾向となっている。こうした状況を受けて、販売店は売り腰を強めていくものと見られ、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	均衡	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	250 ～ 252	石油製品	7月10日	原油価格は、エジプトなど中東情勢の悪化から先高気配を強めている。加えて6月中旬以降の円安の影響から、元売会社の卸価格は石油製品全般で引き上げられた。しかし、足元の需要に盛り上がりを欠く中、流通側は数量重視の販売姿勢を見せており、産業用は灯油以外、価格下落。先行き、横ばい。 JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は平成24年3月末までに稼働を再開。これにより東日本大震災の影響で稼働を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻っている。	やや緩和	横ばい
	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	7月16日	東北地区は復興需要から民需・官需とも例年に比べ好調に推移している。供給体制は今後も問題ない見通し。	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	266 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	7月16日	福島地区では、除染関連の引き合いを中心に推移している。バックホウ、高所作業車、ダンプをはじめ、除染作業及び汚染土砂の作業に伴う機械が活発だが、一時よりはひっ迫感は緩和している。市況は需要の緩和を受け、目先横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	7月16日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 震災復興工事の発注は計画の見直しなどで当初見込みより遅れている。今後、平成25年9月頃に工事発注が重なる見込みで、需要のピークを迎えるとみられる。東北地区における資材の稼働率は依然として高く、需給がひっ迫している状況に変わりはないものの、需要のピークを迎える時期までは通常体制で供給できる見通し。目先、価格は横ばいで推移する見通し。 【敷き鉄板】 東北地区は復興関連の大口需要により荷動きは好調。一部物件で供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、保有量が多い関東地区も、需要は堅調に推移しており、リース業者各社は、保有在庫を引き合いの少ない西日本から東日本にシフトするなど、需給は総じて引き締まっている。	ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	7月12日	<p>高速道など震災復興の舗装工事が一段落したとの見方から、東北地区における需要は前年に比べ落ち着く見通し。</p> <p>西日本の製造拠点の1つであったコスモ石油坂出製油所が、同社の供給体制の再構築によって7月にも物流拠頭に転換される予定だが、端境期である事もあり、今のところ大きな混乱は生じていない。</p>	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	7月16日	<p>生産量が出荷量を上回ったことにより、在庫量はやや増加したものの、適正量までには至らず、依然として低水準な状態が続いている。需要は引き続き堅調に推移しており、先行きも強含み推移する見通し。</p> <p>被災した工場は、事業停止となった2工場を除いて稼動を再開しており、全品目について生産体制は平常通りとなっている。</p>	ややひっ迫	強含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	7月16日	<p>東北地区は復興関連需要向けが中心で、他地区よりも荷動きは堅調に推移している。しかしながら、依然、復興需要の本格化は不透明感が強く、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制。供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。</p>	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	7月16日	<p>下水道関連に加え、一部では公営住宅等でも荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先の見込み。メーカーは原料価格上昇を理由に値上げを打ち出しているが、実需の盛り上がりには乏しい上に、旧価格で卸された市中在庫の量も多く、値上げは浸透していない。</p> <p>供給体制そのものに問題はみられない。</p>	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	7月12日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、新年度入り後も旧年度工事の工期延長が続き、活況を呈している状況。新年度発注は、端境期で一時的にとぎれ、鉄筋工の慢性的な労務不足は、いったん落ち着きを見せているが、先行きは依然として不透明。専門工事業者側では、これまで長年にわたって下落してきた単価を、社会保険未加入分も含めて本来の水準に戻したい意向で、値上げ要請を強めている。今後も、宮城の火力発電所建設など、大型物件による需要増で、強基調で推移しよう。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	426 ~ 429	7月8日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、県など自治体発注も含めて、引き続き多くの復旧復興関連工事が進められている。新年度に入り、労務不足の状況は落ち着きを見せつつあるが、今後、内陸部の建築および土木工事の増加とともに、再度ひっ迫することも予想される。 一部工事では前年度から続く工期延長、設計労務単価上昇などの要因が重なり、工事費相場は専門工事業者優位の堅調な相場形成が続くとみられ、今後も強含みで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠工 (材工共)	434 ~ 437:	7月17日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾施設では、依然として工事量が多い状況が続いているが、工期延長等を含め継続案件が多く、新年度に入ってから工事発注はこれからの状況。そのため型枠工における労務者および型枠材の調達状況は、現在のところ落ち着きを見せている。 一方で設計労務単価上昇の影響により、専門工事業者からの値上げ要請が強まっていることから相場は堅調。先行き、新年度向けの工事量の増加も考えられるため型枠工相場は強含みでの推移となりそう。	ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	7月16日	被害のあった沿岸部では、物流倉庫や水産加工場などの物件が見られ、また、内陸部では、学校関連や復興公営住宅、駅舎新設工事などの需要が堅調に推移。地元の専門工事業者では、慢性的な職人不足から工事を消化しきれず、隣県からの協力体制が見られている。このため、総合工事業者側では職人確保に苦慮している。 市況は、引き続き、強含み推移。	ややひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	7月16日	沿岸地域では、水産加工の工場や冷凍・冷蔵倉庫等の建設に加えて、病院や学校の耐震改修工事、公営住宅の新設工事等が発注されている。市内中心部においても、住居・オフィスビルの改修工事や、新築工事案件が本格化している。 需要が堅調に推移している中、型枠工の不足感は依然として解消されていないものの、専門工事業者の手持ち工事量はやや減少する兆しが見られ相場は一服状態。しかしながら、職人の調達コストは上昇しており、専門工事業者側は値上げを一層強めていく構え。夏場以降、再び需給がひっ迫するとみられ、先行きの市況は、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み